

暮らしの情報

3月1日～



広報とばに掲載された
写真を差し上げます。
ご希望のかたは、総務
課秘書広報係まで。

お知らせ

市営定期船を公売します

定期船課
☎ 4776

市では、市営航路を退役する客船「第二十二鳥羽丸」を一般競争入札により公売します。

公売物件 FRP船、昭和57年10月進水、87・98トン、船体(長さ×幅×深さ) 22・22m×5・20m×2・15m、456kWディーゼルエンジン搭載、平成12年12月主機関換装およびベッカラーダー装備、平成20年11月7日定期検査済。

入札参加希望のかたは、3月30日(月)までに入札参加資格に関する届け出をしてください。

くわしくは、定期船課へ問い合わせてください。

生涯学習講座学習成果 展示発表会

教育委員会生涯学習課
☎ 1268

平成20年度生涯学習講座の受講生の作品を展示します。

みなさんで鑑賞してください。

【出品講座】

- ・ パステル・水彩画教室
 - ・ 初歩の陶芸教室
 - ・ 実用書道教室
 - ・ パッチワーク教室
- とき 3月12日(木)～22日(日)
※16日(月)は休館日です。
ところ 市立図書館展示コーナー

軽自動車の届け出はお早めに

税務課市民税係
☎ 1134

軽自動車税は、4月1日現在の所有者に課税されます。

いま一度、ご自分の軽自動車の登録住所や名義などを確認し、変更・廃車などの手続きをしていない場合は、4月1日(水)までに済ませてください。

届け出・問合せ先

▽原動機付自転車(125cc以下)・小型特殊自動車は、税務課市民税係または各連絡所へ。

▽軽二輪(125ccを超え250cc以下)は、県軽自動車協会(☎059-234-8611)へ。

▽三輪・四輪の軽自動車は、軽自動車検査協会三重事務所(☎059-234-8431)へ。

▽二輪の小型自動車(250ccを超えるもの)は、三重運輸支局(☎050-5540-2055)へ。

なお、125ccを超える二輪、三輪と四輪の軽自動車の手続きは、志摩市家用自動車協会(船津町 ☎3279)で窓口代行を行っていますので、代行手続きに数日かかりますので、お早めに届け出を済ませてください。

あそびの広場「だっこ」の開所日変更

子育て支援センター
☎ 7221

あそびの広場「だっこ」の開所日を、次のとおり変更させていただきました。

3月20日(金)↓3月5日(木)

3月25日(水)↓3月30日(月)

利用時間は、通常どおりですので遊びに来てください。

新体操教室発表会

市運動施設指定管理者
市市民体育館

☎ 6215(市民体育館)

市民体育館では、「平成20年度新体操教室」の集大成として、発表会を開催します。

みなさんお誘い合わせの上、ぜひ

お越しください。
とき 3月7日(土)午後2時30分
ところ 市民体育館
当日は、体育館正面中央階段からご入場ください。



恩給欠格者、戦後強制抑留者、引揚者のみなさんへ

独立行政法人平和祈念事業特別基金
☎ 0120-1234-933

独立行政法人平和祈念事業特別基金では、恩給欠格者、戦後強制抑留者、外地などからの引揚者の「ご本人」に、内閣総理大臣名の『特別慰労品』を贈呈しています。

過去に内閣総理大臣名の書状などを受けたかた、書状を受ける資格があったにもかかわらず、請求されていないかたも対象です。

請求期限は、平成21年3月31日までですので、未請求のかたは、早急に申請してください。

請求書は、健康福祉課生活支援係の窓口にあります。

くわしくは、独立行政法人平和祈念事業特別基金へ問い合わせてください。

受付時間 午前9時15分～午後5時15分(土曜・日曜日、祝日を除く)

3/1

information



木村 ユズ(メス 5歳)

募集

誰でも参加できる地球塾講座

教育委員会生涯学習課

☎ 261268

今回は、御木本幸吉の精神を今に生かして、自己の夢・目標を実現させる手法を考えます。

また、第8期鳥羽少年探偵団の今期の調査報告も行いますので、ぜひ参加してください。

とき 3月7日(土)
午前9時30分～正午

旧日本赤十字社救護看護婦および旧陸海軍従軍看護婦のみなさんへ

総務省大臣官房管理室 業務担当

☎ 031525315182

先の大戦において、外地など(事変地の区域または戦地の区域)に派遣され、戦時衛生勤務に従事された旧日本赤十字社救護看護婦および旧陸海軍従軍看護婦のかた(慰労給付金受給者を除く)に対して、その御労苦に報いるため内閣総理大臣名の書状を贈呈しています。

請求期限は、平成21年3月31日です。ご本人または家族のかたからの連絡をお待ちしています。

くわしくは、総務省大臣官房管理室業務担当へ問い合わせてください。

第2回「おむつ外し」講座

子育て支援センター

☎ 267221

子育て支援センターでは、第2回おむつ外し講座を開催します。

「そろそろおむつを外したい」、「いつごろから始めたらいいの」、「トイレに誘っても嫌がる」などでお悩みの保護者のかたは、ぜひ参加してください。

とき 3月16日(月)午前10時～11時
(相談を含む)

ところ 子育て支援センター・あそびの広場「だっこ」(あおぞら保育所2階)

対象 乳幼児子育て中の保護者のかた(託児を希望されるかたは、応募のときに申し出てください)

講師 保育所長

募集人員 10人(先着順)

申込期限 3月11日(水)

申込・問合せ先 子育て支援センターへ。

離乳食教室に参加しませんか

保健センター

(健康福祉課健康係)

☎ 261146

市では、これから離乳食作りを始めるかた、うまく進まずに悩んでいるかたなどを対象に「離乳食教室」を開催します。気軽に参加してください。

とき 3月19日(木)

受付時間 午前9時30分～10時

講義・調理実習 午前10時～11時30分

対象 4か月～8か月児のいる保護者(託児します)

ところ 保健福祉センターひだまり

2階・健康相談室

持ち物 母子健康手帳・エプロン・三角巾

募集人員 10人(先着順)

申込期限 3月17日(火)

申込先 健康福祉課健康係へ。

柔道スポーツ教室

市運動施設指定管理者

☎ 264025(武道館)

武道館では、柔道スポーツ教室を開催します。

とき 3月14日(土)午前10時～

ところ 武道館

講師 堀越英範さん(全日本選抜柔道体重別選手権大会優勝者)

参加費 無料

参加を希望されるかたは、運動のできる服装で直接、武道館へお越しください。

文化講座へ参加しませんか

市立図書館

☎ 264555

市立図書館では、教養と趣味を兼ねた、俳句・書道・詩・短歌・絵画の5つの講座を開いています。あなたも4月から始めてみませんか。

講座	日 時	講 師	募集人員
俳句	第1 木曜日 午後3時～5時	増田河郎子	35人
書道	第2 木曜日 午後5時～7時	近藤 翠山	50人
詩	第3 木曜日 午後5時～7時	渡辺 正也	35人
短歌	第4 木曜日 午後1時30分～3時30分	檜山 信道	35人
絵画	第4 木曜日 午後5時～7時	野村 昭輝	50人

受講資格 中学生以上(保護者と同じ講座を受講する場合は、小学生も申し込めます。ただし、書道は小学校3年生からです)

ところ 市立図書館2階・会議室

会費 1講座・年間3,600円

申込先 市立図書館

3/1

information

市営定期船船内広告

定期船課
☎ 4776

宣伝、広告に定期船の船内広告をご利用ください。

定期船課では、平成21年度の船内への広告希望者の申請を次のとおり受け付けます。

掲出枠は、大小2種類です。

掲出期間 4月1日から平成22年3月31日までの1年間

掲出料金(年額・消費税別)・規格

大・3万円(728mm×515mm)

小・2万円(364mm×515mm)

受付期間 3月2日(月)～31日(火)(土曜・日曜日、祝日を除きます)

くわしくは、定期船課へ問い合わせてください。

第2回鳥羽市ゴルフ大会

鳥羽市ゴルフ連盟・大会係
(鳥羽カントリークラブ内)
☎ 7015

鳥羽市ゴルフ連盟では、「第2回鳥羽市ゴルフ大会」を開催します。

多くのみなさんの参加をお待ちしています。

とき 4月2日(木)

ところ 鳥羽カントリークラブ

参加資格 鳥羽市もしくは県内に在住の勤務者および学生

申込方法 市民体育館か市観光協会

事務局、鳥羽カントリークラブでお渡しする所定の申込書に必要事項を記入の上、鳥羽カントリークラブ内

第2回鳥羽ゴルフ大会事務局(〒517-1133 鳥羽市堅子町字前山244-1)へ郵送または持参していただく

かファクス(☎ 7250)で申し込んでください。

募集人員 200人(先着順)

申込期限 3月14日(土)(必着)

申込者には、組み合わせを含めて、後日連絡します。

春一番ファミリコンサート

春一番ファミリコンサート

実行委員会 廣川

☎ 1638

市内で活動する各種福祉団体が手をつなぎ合って開催する「春一番ファミリコンサート vol.8」への参加者を募集します。

とき 3月7日(土)午後1時30分開演

ところ 保健福祉センターひだまり

2階・ひだまりホール

内容 歌、歌遊び、手品、レンジャーショー、パネルシアターなど

参加方法 参加協力券(3歳以上のかたは、300円)をお求めの上、ご入場ください。

参加協力券取扱所 保健福祉センターひだまり(社会福祉協議会、鳥羽ショッピングプラザハロー、野村書店、尚文堂



vol.4

暮らしを支える
3つの基礎年金

市民課保険年金係

☎ 1128

国民年金は、老後の生活保障だけを目的としたものではありません。けがや病気によって障がいが残ったとき、また一家の働き手が亡くなったときに、本人や家族の生活を保障するなど、わたしたちの暮らしを支える大切な制度です。

老齢基礎年金

老後の生活を支える終身保障の年金です。老齢基礎年金を受け取るためには、保険料を納めた期間と保険料を免除された期間が最低25年間あることが必要です。

65歳から受給するのが原則ですが、受給開始年齢を繰り上げ、もしくは繰り下げすることもできます。

年金支給率は、受給開始年齢によって異なります。

障害基礎年金

国民年金加入中に、けがや病気で障がいの状態になったときに支給される年金です。20歳以上であれば、障害基礎年金の請求をすることができ、受給するには、一定期間

の保険料納付が必要であったり、国民年金法で定める障害等級に該当しているなどの要件があります。

遺族基礎年金

国民年金加入中もしくは、老齢基礎年金の受給資格期間を満たしたかたが亡くなったとき、そのかたによって生計を維持されていた「子のある妻」または「子」に支給される年金です。受給期間は、子が18歳になる年度末(子に障がいがある場合は20歳未満)までです。受給するには、亡くなったかたが一定期間保険料を納付しているなどの要件があります。

免除制度を活用しましょう

このようにそれぞれの基礎年金を受給するためには、一定の納付要件を満たしていることが必要です。経済的な理由などで保険料納付がどうしても困難な場合は、保険料免除制度を活用してください。

くわしくは、市民課保険年金係か伊勢社会保険事務所(☎ 0596 3600)へ問い合わせてください。